

バイオリンのコンサートで新年会 「元気に頑張ろう」と高梨会長

上田高校関東同窓会は1月19日、千代田区一ツ橋の教育会館で恒例の新年会を開催した。参加者は44-5期から105期の計108人で、イベントは塩野入清美さん（85期）のバイオリンと山岸麻悠美さん（101期）のピアノによるミニコンサートを楽しんだ。

エルガー作曲の「愛の挨拶」で始まりビバルディの四季から「春」、上田高校校歌を作曲した岡野貞一の「朧月夜」などに続き、美空ひばりの歌で知られる「川の流れるように」、ビートルズの「イエスタデイ」などおなじみの曲が続いた。二人は上田高校創立110周年記念演奏会でも顔を合わせており、息の合った演奏に参加者は聴き入った。圧巻は昨年1年間毎週日曜日に流れ続けた大河ドラマ「真田丸」のメインテーマ。演奏が終わるとひととき大きな拍手が湧いた。最後は演奏に合わせて上田高等学校校歌を全員で斉唱、「アンコール！」の声も上がった。



続いて開かれた懇親会では高梨奉男会長が、新年会の出欠はがきから今年96歳になる岩下運雄さん（38期）の「足腰は弱ってきましたがゴルフはしています」という近況などを紹介。「私たちも負けなように元気を出して頑張っていきましょう」と呼び掛けた。参加者の最年少で、昨年の新年会でチェロを演奏してくれた寺島志織さん（105期）のかわいらしい乾杯の音頭で会場は一気に和やかになり懇談がスタート。昨年の総会で映画「うさぎ追いし〜山極勝三郎物語〜」について講演をお願いした映画プロデューサーの永井正夫氏（62期）が「東京のスバル座の上映は終わるが、今後仙台市、福岡県など全国に展開していく」と紹介した。



演奏を終えた塩野入さん、山岸さんのほか、昨年の総会のトロンボーン奏者奥村晃氏（89

期)、参加者の最長老手塚敬一氏(44-5期)らが次々にあいさつに立ち、懇親会を前に急ぎよ結成した小泉行徳氏と一之瀬康利氏(いずれも75期)がギターとサックスによる演奏と歌を披露し会を盛り上げた。



最後は寺島さんの次に若い大谷真宙さん(103期)の三本締めでお開きにした。

